

ソフトウェア関連の審査に従事した元特許庁審査官が必須ポイントを徹底解説

# IoT・AIビジネスを支えるための ソフトウェア特許 ～戦略から実務まで～

日時  
2017年 4月4日 (火)  
10:30 ~ 16:30

## 税込受講料

1名 48,600円  
2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
JR中央線(緩行線)  
地下鉄東西線(A5出口)  
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)  
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

### <お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

### 講座のポイント

本講座は、IoT、AI分野の動きを眺めつつ、ソフトウェア特許を活用して先行者利益を確保するための基礎知識と実務を1日で俯瞰することを目標とします。基礎的な事柄から実務上の専門知識まで、要点を押さえて解説していきます。マネジメントの方々においては今後の戦略策定の一助となり、知財担当・エンジニアの方々においては実務上の必須ポイントを覚えて頂く機会となれば幸いです。

講師 相澤 聡氏 弁理士、いちご特許事務所 パートナー  
元特許庁審査官 元ソフトウェアエンジニア

1. いま注目されるIoT、AI
  - (1) IoT、AIとは何か?
  - (2) いまIoT、AIが注目される理由 - ネットワークと人工知能の歴史と現在
  - (3) IoTとAIがもたらす産業上の可能性と問題点
2. IoT、AIとソフトウェア特許
  - (1) IoT、AIビジネスに欠かせないソフトウェア特許
    - (a) 特許とは何か?
    - (b) 特許を使ってうまく立ち回れ!  
- 群雄割拠のIoT、AI業界を泳ぎ切るための特許戦略
    - (c) 特許のコストとベネフィットを分析する
  - (2) ソフトウェア特許
    - (a) ソフトウェア特許とは何か?
    - (b) ソフトウェア特許は他の分野の特許と何か違うのか
3. ソフトウェア特許をめぐる基礎知識と実務
 

基礎知識編 : ソフトウェア特許の取得に欠かせない重要ポイントを、主要国の特許審査基準や裁判例を紹介しながらわかりやすく解説します。

  - (1) ソフトウェア特許を手に入れるための2つの視点
    - (a) それは「発明」か? (b) そこに「進歩性」があるか?
  - (2) 主要マーケットの制度比較
    - (a) 日本 (b) 米国 (c) 欧州

実務編 : 基礎知識編でおさえた重要ポイントに基づいて、知財実務上の留意点や対応方法等を検討します。

  - (3) 知財実務における留意点と対応方法
    - (a) 特許出願時のチェックポイント  
明細書には何をどこまで記載するか 侵害の態様から考えるクレームの作成方法
    - (b) クラウド、ネットワーク時代の特許権侵害に対処する
    - (c) ソフトウェア開発業務で生じうる特許問題

主催 ISS 産業科学システムズ TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675  
http://www.ebrain-j.jp E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 「IoT・AIビジネスを支えるためのソフトウェア特許」

セミナーコード

1101-170404

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/4/4 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				( )
			FAX	-
窓口部署			通信欄	
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				